

プログラム3 学ぶ意欲を高める授業研究会

研修の計画

■ 研修のねらい

子どもの姿を基にして、授業の観点及び学ぶ意欲の視点に沿って協議し、授業のねらいの達成度と工夫した点の有効性について検証し、成果と課題を確認する。

■ 方法・形態 ワークショップ（1グループ：6～8人）

- 事前準備 授業の見方、付箋の書き方について共通理解を図る。【参考資料①】
授業者は、授業の観点や重点的に働きかける学ぶ意欲の構成要素を知らせる。（授業の観点は1つか2つに絞る。）

■ 展開

内容	時間	概要及び留意点	資料
1 研修のねらいを確認	2分	・研修のねらいと研修の進め方について知らせる。（講師または、担当者）	
2 授業者の反省及び協議の内容を確認	3分	・共通の課題のもと、協議を深められるように、授業者が協議してほしい点を含め、授業の観点を確認する。	
3 ワークショップ	30分	①授業の観点について、参考になる点を、付箋（水色）を出しながら、話し合う。 ②授業の観点について、授業者に聞いてみたい点、気になった点を、付箋（桃色）を出しながら話し合う。 ③学ぶ意欲の観点から、①②と同様に話し合う。 ④授業の観点、学ぶ意欲の観点以外について、①②と同様に話し合う。 ⑤貼られた付箋をグルーピングしタイトルを付ける。 ⑥特に話題になった課題の対応策を話し合う。	・ワークシート ・付箋
4 情報交換	15分	・各グループで、話題の中心になったこと等を発表し合う。	
5 振り返り	10分	・授業及びワークショップを通して学んだこと、今後の授業に生かせることなどを書いたり、話し合ったりする。	・振り返りカード

■ 評価

- ・子どもの姿を基にして、授業の観点及び学ぶ意欲の視点に沿って、目標の達成度や工夫した点の有効性等について協議し、日頃の自分の授業について振り返ることができたか。

研修の計画

授業観察のポイントを事前に確認

授業研究会の前に、授業の見方を確認します。子どもの表情やつぶやき、ノートの記述等から、どの程度理解し、どのように学んでいるかを見取ることは、授業の構想や展開、授業中における指導力の向上に役立つと考えられます。

研修のねらいの確認（例）

- ・参加者全員が活発に意見を出し合うとともに、自分の授業を振り返る。（初期の段階）
- ・活性化が図れてきたので、授業の観点に絞って話し合い、協議の深化を図る。（深化を図る段階）

ワークショップの進め方

司会者は、限られた時間に全員が話せるように進行する。

- ① 初めて行う場合は、発言する順番を決めて付箋を出しながら、子どもの学びの様子について話す。その際、同じ内容の付箋を持っている人は、順番でなくとも出す。
- ② 授業者は各グループを数分ずつ回り、質問を受ける。
- ③ 観点以外で気付いた点については、その他の欄に貼る。
- ④ 同じような内容の付箋をグルーピングし、タイトルを付ける。このことにより、成果と課題が見えてくる。
- ⑤ 特に話題になった点について、対応策や解決策を話し合う。

教師の振り返り（例）

- ・何気なく行った言葉かけで、子どもが意欲的になったとの意見をもらったので、さらに、個人への言葉かけについて考えていきたいと思います。（授業者）
- ・子どもを丁寧に観察していると、1時間の中に、学ぶ意欲が高まる瞬間が何度か見られました。それを、持続させる指導について考えていきたいと思います。（参観者）

授業を組み立てる上での留意点

○授業のねらい（教科のねらい）を達成することが大切であり、学ぶ意欲を高めることは、そのための手段であることに留意する。

〔参考文献〕「組織力の向上を図る校内研修の充実」平成22年11月 栃木県総合教育センター

【参考資料①】

授業の見方

- 1 子どもの顔が見える位置に立つ
- 2 全体と個を見る
- 3 視点を意識しながら事実を見取る
 - 子どもの表情やつぶやき
 - 教師の投げかけに対する子どもの反応
 - 子どもの取組や変容

付箋の書き方

- 2色の付箋を使い分ける
 - ・水色：参考になる点
 - ・桃色：気になった点、疑問点
- 時刻を記入
- 中太のサインペンで
- 短い文や単語で

○月○日() ○○科「 」 ○年○組 授業者()

	授業の観点	学ぶ意欲の視点	その他
参考になる点			
気になった点			

ワークシートについては、本図のような観点別シート他に、時系列シート、2軸のシート等が考えられる。